

第20回群馬県河川整備計画審査会

開催場所：群馬県高崎合同庁舎 4階403会議室、現場

出席委員：青井透、卯木達朗、内山充、岡本雅美、熊倉浩靖、斎藤晋、清水義彦、林不二雄、峰村宏、宮田裕紀枝、吉澤和具（出席11名、欠席無し） 敬称略

事務局：河川課・・・荒井課長、八木次長、松本補佐、平形補佐、大前係長、野口主幹、小暮主幹、島田副主幹、中島技師、中山技師
高崎土木・・・前橋所長、町田副所長、下田事業所長、矢内補佐、金井補佐、石坂係長、宮崎係長、市川主任
増田川ダム・・・清水所長、諏訪次長、田口技師

傍聴者：1名

議題：烏川圏域河川整備計画（変更）素案について

配布資料：次第

資料1 烏川圏域河川整備計画（本文）新旧対照表

資料2 「烏川圏域河川整備計画（変更）素案」に対する意見（意見回答様式）

1 開会

2 あいさつ（河川課長）

3 議題

①烏川圏域河川整備計画（変更）素案の説明

事務局より烏川圏域河川整備計画（変更）素案について、資料1により説明。

以下、審議内容

- 会長（清水委員）
内容が多岐にわたるが、分かりにくい点や不明な点、修正すべき点など、各委員からのご意見をいただきたい。
- 岡本委員
(P10)倉渕ダム中止に関連し高崎市が別水源による水利権を得たと説明を受けたが、どのように水利権を得たのか。
- 事務局
群馬県保有水源の水を烏川へ補給することで水利権を得た。
- 岡本委員
(P4)上里見地点は利根川の基準地点として認定されているものか。
- 事務局
認定されていない。
- 岡本委員
(P19)調節池は河道内、河道外のどちらに設置するか。
- 事務局
河道外を用地買収して設置する予定。

- ▶ 岡本委員
 (P34)堤防の浸透対策とは、どのようなことを実施するのか。
- ▶ 事務局
 堤防内の水位を下げるため、堤防法尻を透水性の良い材料へ置き換えるなどの対策を行う。
- ▶ 青井委員
 (P19)正観寺川の上流端に正観寺沼があるが、沼の上流域が近年開発されており、井野川の洪水への影響も大きいと考える。正観寺沼の遊水機能を利用することを考えるべき。
- ▶ 事務局
 現地を確認し検討したい。
- ▶ 会長（清水委員）
 井野川に関しては流域対策も重要な施策となるため、これに関する記載があっても良い。
- ▶ 岡本委員
 一般論として開発する際は、流出増対策を実施することとなっているのでは。
- ▶ 事務局
 面整備する際は流出増対策を実施することが基本となっているが、規模が小さい開発などまでは対象としていない。
- ▶ 熊倉委員
 (P3)被害は相変わらず発生している状況、と記載されているが、むしろ開発や気候変動により被害が頻発し深刻化しているのではないか。
- ▶ 事務局
 記載について検討する。
- ▶ 林委員
 (P7)環境に配慮した整備を実施するとの記載があるが、整備後の検証が大切と考える。
- ▶ 事務局
 記載については検討する。なお、整備完了した河川については、今後も魚類調査等を実施していく予定。
- ▶ 斎藤委員
 (P5)河川水質に関しては、生息する生物、特に水生昆虫なども指標の一つとなるため、これに関しても記述すべき。
- ▶ 宮田委員
 県内においても景観行政団体が増えてきているため、橋や堰などを補修するにあたり、景観行政団体の計画に基づく整備を実施すべき。
- ▶ 吉澤委員
 (P5)下流地域でアユの友釣りなどが行われ、と記載されているが、ここでの下流地域とは県管理区間における下流地域と思われる。また、釣り人に関しては減少傾向もあるため、記載を検討すべき。

- 岡本委員
(P38)河川情報の提供に関する事項へ濁水調整について記載されていないため、追記すべき。
- 卯木委員
県内の鳥の数が絶対的に減ってきている。これは、ゴルフ場や畑などで使用する農薬や家庭で使用する洗剤などが河川へ流出することで、魚の数が減っていることが原因の一つと考えられる。河川管理者だけでなく、国民全員が考えなくてはならない問題である。
- 熊倉委員
(P5)烏川などの硝酸態窒素の濃度はどのようになっているか。
- 青井委員
硝酸態窒素については、東京から吹く風により運ばれ、碓氷川、鐺川、烏川で濃度が高い傾向があるが、環境基準が無い状況。
- 熊倉委員
(P5)烏川のBOD値は経年的に高くなっているのか。
- 事務局
経年的には大きく変わっていない。
- 峰村委員
(P5)先ほども話が出たが、化学的な水質は、採取した時点のものを示しているのみである。しかし、そこへ棲む生物については、常時の状態が分かる目安となるため、判断材料としては有効と考える。

4. 事務連絡

- ①今後のスケジュール
- ②意見回答の集約
- ③議事録の確定

5. 現場視察

①烏川

信越本線上流の整備区間の現地状況を確認しながら、事務局より整備方針等について説明。

②井野川

最上流部の調節池整備計画地の現地状況を確認しながら、事務局より整備方針等について説明。

6. 閉会

以上

署名 清水義彦